

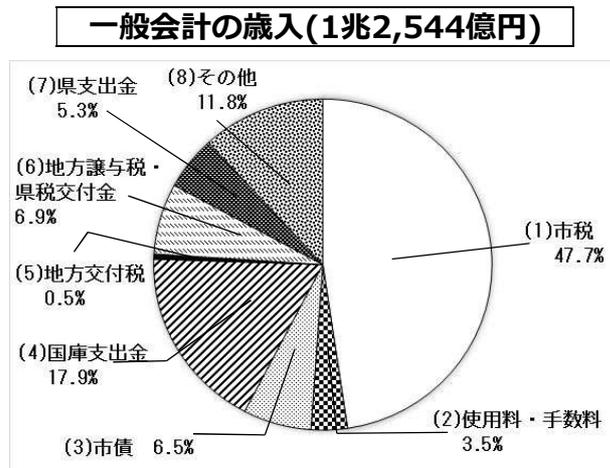
## 成立した令和2年度予算の概要

### ■予算の総額

会計名	説明	2年度予算額	対前年度比
一般会計	市税を主な財源とし、福祉、教育、道路・公園の整備など市政の基本的な事業を行っている会計	1兆2,544億円	+0.4%
特別会計	保険料など特定の収入によって特定の事業を行っている会計で、一般会計と区別して経理する会計	1兆 447億円	▲5.0%
公営企業会計	病院、上下水道、市バス、地下鉄事業など、主にサービスを受ける方からいただいた料金で運営している会計	4,490億円	+0.1%
<b>合計</b>		<b>2兆7,481億円</b>	<b>▲1.8%</b>

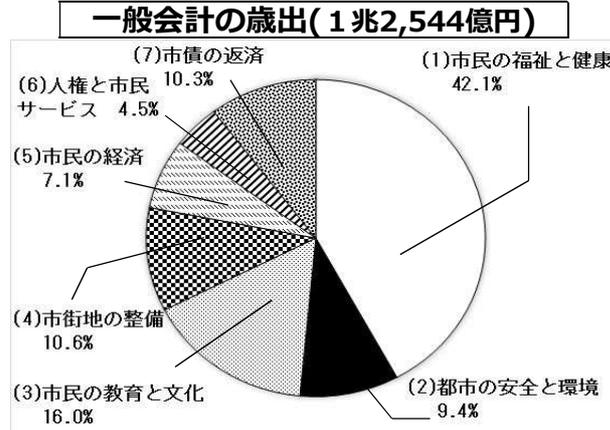
### ■一般会計の歳入

区分	2年度予算額	対前年度比
(1)市税	5,979億円	+0.6%
(2)使用料・手数料	434億円	▲4.6%
(3)市債	819億円	▲9.4%
(4)国庫支出金	2,242億円	+5.4%
(5)地方交付税	63億円	▲7.4%
(6)地方譲与税・県税交付金	867億円	+16.2%
(7)県支出金	660億円	+11.9%
(8)その他	1,480億円	▲11.1%
<b>合計</b>	<b>1兆2,544億円</b>	<b>+0.4%</b>



### ■一般会計の歳出

区分	2年度予算額	対前年度比
(1)市民の福祉と健康	5,277億円	+2.5%
(2)都市の安全と環境	1,182億円	▲8.6%
(3)市民の教育と文化	2,009億円	+4.8%
(4)市街地の整備	1,330億円	▲2.7%
(5)市民の経済	892億円	▲3.1%
(6)人権と市民サービス	565億円	+0.1%
(7)市債の返済	1,288億円	▲0.2%
<b>合計</b>	<b>1兆2,544億円</b>	<b>+0.4%</b>



(金額等は四捨五入していますので、合計が一致しないところがあります。)

## ■ 一般会計の主な施策

### (1) 市民の福祉と健康

<b>保育士等の技能・経験に応じた処遇改善</b> 保育士などの確保や就業継続を図るため、民間保育所などにおける職員の処遇改善や国において定められたキャリアパスの仕組みを構築	10億9,993万円
<b>敬老バス対象交通拡大等の準備</b> 敬老バスの名鉄・近鉄・JR東海の市内運行区間への対象交通の拡大と利用限度の設定のためのシステム改修と、福祉特別乗車券の対象交通の拡大のためのシステム改修を実施	3億6,307万円

### (2) 都市の安全と環境

<b>災害救助基金の設置</b> 救助実施市の指定を受けたことに伴い、避難所運営や応急仮設住宅の供与などの応急救助の費用の支弁の財源に充てるため、災害救助基金を設置	19億円
<b>救急・災害医療センター(仮称)の設計等</b> 市立大学病院の機能強化のための救急・災害医療センター(仮称)の基本設計などに対する貸付金	3億6,000万円

### (3) 市民の教育と文化

<b>ナゴヤ・スクール・イノベーション事業</b> 個別最適化された学びを提供する授業改善の推進やICT環境整備など、子ども一人一人の興味・関心や能力、進度に応じた学習を推進	9億7,585万円
<b>小学校における新たな運動・文化活動の実施</b> 教員が指導する小学校部活動を見直し、133校の小学校において民間委託による新たな運動・文化活動を実施	5億4,313万円

### (4) 市街地の整備

<b>未就学児等や高齢者の交通安全緊急対策</b> 未就学児が日常的に移動する経路などへの防護柵等の設置や保育所・幼稚園などにおける交通安全教育の拡充、高齢者安全運転支援装置の設置助成などを実施	9億2,113万円
<b>市営住宅等管理運営等基金の設置</b> 住宅使用料などの一部を積み立て、後年度に建物の維持管理・改善・建替などの財源として活用できるよう、市営住宅等敷金積立基金を改め、市営住宅等管理運営等基金を設置	1億円

### (5) 市民の経済

<b>スタートアップ共創促進事業</b> コーディネーターの配置と協力企業の認定制度の創設による共創を促す仕組みの構築や既存企業とスタートアップ企業との共創を促進するプログラムを実施	5,000万円
<b>小中学生起業家育成事業</b> 小中学生の起業意識の醸成や起業家的資質の向上を図るため、成長段階に応じた育成プログラムを実施	2,000万円

### (6) 人権と市民サービス

<b>マイナポイントの利用に係る申し込み支援</b> 国が実施する「マイナポイントを活用した消費活性化策」の開始に合わせて、各区役所・支所に申込用の情報端末の設置や申し込みを補助する支援員を配置	1億6,284万円
--	-----------

## ■ 特別会計・公営企業会計の主な施策

<b>可動式ホーム柵の整備</b> ホームからの転落などを防止するため、名城線・名港線の可動式ホーム柵の全駅設置や、鶴舞線(庄内緑地公園～平針)の可動式ホーム柵設置に向けた測量を実施	55億2,291万円
<b>フレイル対策の推進</b> 現在の心身の状態を知り、介護予防に取り組むきっかけづくりを目的としたフレイルテストの実施やフレイルサポーターを養成	700万円

(1万円未満は四捨五入しています。)